

## スラックライン初級体験教室が入選！

みちのく公園でNPO法人 仙台スラックラインが開催してる「スラックライン初級体験教室」が『公園・夢プラン大賞2021』  
“実現した夢部門”で入選いたしました！

『公園・夢プラン大賞2021』は、公園を使いこなして、地域や地域の皆さんが元気になった活動事例や、「こんなことができたら楽しい公園になるに違いない」という提案をご応募いただき、審査・表彰するもので、「実現した夢」部門と「やりたい夢」部門の2つの部門があり、「スラックライン初級体験教室」は、「実現した夢」部門で、新しいスポーツを普及し、公園での活動を活性化する取り組みとして評価されました。



### 『スラックライン体験教室』



写真スラックライン体験教室

資料配信先：宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ

### 問合せ

国営みちのく杜の湖畔公園 みちのく公園管理センター  
〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9  
Tel 0224-84-5991(代) Fax 0224-84-5992  
企画運営課長 合田 健太郎(内線672) 広報担当 菅原 利之(内線673)

## 「公園・夢プラン大賞」概要

■事業名称 公園・夢プラン大賞 2021

■募集期間 令和3年4月16日(金)～令和3年9月30日(木)

### ■主催者等

主催：一般財団法人 公園財団

共催：一般社団法人 日本公園緑地協会

後援：公益社団法人 日本造園学会、公益財団法人 日本レクリエーション協会

一般財団法人 日本造園修景協会、一般社団法人 日本造園建設業協会

一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会、公益社団法人 日本家庭園芸普及協会

一般社団法人 日本公園施設業協会、一般社団法人 公園管理運営士会

### ■募集内容及び応募件数

①「実現した夢」部門 44件

・公園で行われ、皆さんの“夢の実現”となった、素敵なイベントや活動を募集しました。

②「やりたい夢」部門 346件

・公園で“やってみたい”楽しい夢やアイデアを募集しました。

### ■審査会および審査委員

令和3年10月20日(水)に実施し、入選プランが決定しました。

審査委員長 三島 孔明 千葉大学大学院園芸学研究院 准教授

審査委員 宮地 克昌 二松學舎大学国際経営学科、跡見学園女子大学(イベント論)、東京観光専門学校

審査委員 荻原 礼子 有限会社 結まちづくり計画室 代表

審査委員 林 莊祐 ジャーナリスト/旅記者

審査委員 小田原 一記 公益財団法人日本レクリエーション協会専務理事・事務局長

審査委員 浦田 啓充 一般社団法人 日本公園緑地協会 常務理事

審査委員 高梨 雅明 一般財団法人 公園財団 副理事長

### ■審査のポイント

①「実現した夢」部門

- ・イベントや活動にかけた思いが伝わってくるもの
- ・地域や街の活性化に関わったもの

②「やりたい夢」部門

- ・やってみたくなる、参加したくなる新しいイベントのアイデア
- ・公園の利用方法の新しい提案

■実現した夢部門 入選プラン

賞	実現した夢部門
最優秀賞	<p><b>ダイバーシティの妖精の村づくり</b>            実施団体：まちづくり未来会議            実施公園：妖精の村（徳島県阿波市）            概要：人口減少が進む阿波市阿波町の商業核であるショッピングプラザアワーズ周辺の住民がまちを活性化。ツリーハウスの森や菜園づくり等を通して、未来を担う子どもたちに阿波町の良さを伝えながら、「まちを素敵に変える」活動を実施。</p>
優秀賞	<p><b>あぐりの丘をやりたい夢が集まる丘へ！「あぐりの丘でやってみようプロジェクト」</b>            実施団体：あぐりネットワーク 実施者：松尾 健蔵 ほか            実施公園：長崎市いこいの里 あぐりの丘（長崎県長崎市）            概要：あぐりの丘でやってみよう夢（アイデア）を市民が持ち寄り、その夢を実現するための活動を年間 200 以上実施。公園の賑わいづくり、公園の課題を解決する等、様々な活動を市民の手で実施している。</p> <p><b>大神山公園を固有種の宝庫に！</b>            実施団体：NPO 法人小笠原野生生物研究            実施公園：都立大神山公園（東京都小笠原村父島）            概要：10 年以上にわたる計画的な活動で大神山公園を小笠原固有植物の展示場にした。特に、外来種の駆除は、定期的に老若男女の島民ボランティアも参加し、毎年一度は小笠原高校の高校生も参加するなど、様々な人に協力してもらい実施している。</p>
入選	<p><b>「今夜、ローズガーデンで。」若園バラ園ライトアップ&amp;コンサート</b>            実施団体：レクリエーションデザイン smile infeel            実施公園：茨木市若園バラ公園（大阪府茨木市）            概要：市内事業者と市民団体の有志メンバーで、バラの見頃である時期に、バラ園内をライトアップし、その幻想的空間の中でピアノコンサートを開催。コロナ禍での開催であったが、近隣住民が喜び、次回開催に向け、仲間や応援してくれる方も増えている。</p> <p><b>スラックライン初級体験教室</b>            実施団体：NPO 法人仙台スラックライン            実施公園：国営みちのく杜の湖畔公園（宮城県川崎町）            概要：多くの方に緑豊かな公園で、のびのび楽しみながら気軽に参加してもらえるよう、敷居の低いスラックライン初級体験教室を開催。スラックラインの普及・啓発と、地域の人が運動を始めるきっかけをつくり、スポーツを楽しむ文化が地域に根付く取り組みを実施。</p> <p><b>都市公園に育まれる森のようちえん活動：森のマルシェまでの道のり</b>            実施団体：一般社団法人びわ湖の森のようちえん せた♪森のようちえん            実施公園：滋賀県営都市公園びわこ文化公園（滋賀県大津市）            概要：森などの自然の中、異年齢で自由に過ごし、自然物を用いた主体的な遊びを通して学ぶことをモットーにする野外保育を実施。公園の森や草原といった自然を求める親子が参加し、公園活性化の役割の要因ともなっている。</p> <p><b>ぱくベジ マルシェ&amp;BBQ</b>            実施団体：NPO 法人農楽マッチ勉強会            実施公園：大阪府立服部緑地公園（大阪府豊中市）            概要：農業や食について、子供にも興味を持ってもらいたいと考え、大阪最大規模の公園（服部緑地公園）で、場所と食材を用意した手ぶらで来れる BBQ と同時に農家に来てもらいマルシェを開催した。</p> <p><b>八木山テラス—誰もが行きたくなる“まち”づくり—</b>            実施団体：金剛沢緑地愛護協力会            実施公園：金剛沢緑地(仙台市太白区)            概要：地域住民が仙台市太白区の公園課と協定を結び、荒れ果てていた金剛沢緑地を住民の手で整備した。整備を通して様々な世代の地域住民が集い交流することができた上、地域住民の夢を実現するプラットフォームとして金剛沢緑地が活用されてきている。</p>

■やりたい夢部門 入選プラン

賞	やりたい夢部門
最優秀賞	<p><b>県をまたぐよ みんな集まれ草引き競争</b>            応募者：中井 夕紀            実施希望公園：三丁目公園、神野公園（熊本市中央区・堺市西区）            概要：公園を全国のオンラインでつないで、草引きを実施する。地球にやさしいメンテナンスを全国に伝えたい。「会いたいけど会えない」人と、このオンラインでつながれるようにしたい。</p>
優秀賞	<p><b>上野パラ・ファッションパーク</b>            応募者：坂口 美果            実施希望公園：上野公園（東京都台東区）            概要：上野動物園にちなんで動物をテーマにしたファッションに身を包んだ障害者が、上野公園の中にそれとなく存在し、行うファッションショー。障害者は特別な存在ではなく、身近にいる普通の存在として公園にいて、いろいろな出会いや気づきの場所となる。</p> <p><b>コロナ禍でもできる、チャンバライベントで日本の心を</b>            応募者：石村 青陽            実施希望公園：広島市中央公園、広島みなと公園などある程度の広さがある公園（広島県広島市）            概要：屋外の開けた公園に集まり（密閉の回避）、複数人でチャンバラをおこなう。このイベントによって、コロナ禍で他人と距離を取りながらもコミュニケーションを取って遊べる、武士道精神を養い、教育効果を期待できる。</p>
入選	<p><b>2022' 新年を自由な音で祝おう！（ラベルのボレロをみんなで奏でよう！）</b>            応募者：早川 智子            実施希望公園：お台場海浜公園など（東京都港区）            概要：ベルのボレロのベース(基本)の音を流し、参加者は、何か音の出る楽器や手作りの音が出る面白い物、拍手や足踏み、踊りなどで大人数が参加し、年越しをにぎやかに祝う。</p> <p><b>いまを贈ろう。てくてくレター</b>            応募者：小口 亜耶            実施希望公園：八ヶ岳自然文化園（長野県原村）            概要：公園内を散歩し、自然と季節を感じながら自分の想う相手に手紙を書く。手紙には、公園で拾った花、葉っぱ、撮った写真、スケッチなどを同封する。自然に囲まれながら、大切な誰かに何かを伝えるきっかけを作る。</p> <p><b>だれでもみんなで木登りデー</b>            応募者：吉武 佳穂            実施希望公園：明石公園（樹齢がある程度たった木が生育している公園）（兵庫県明石市）            概要：公園の木に、だれでも登れる日を1日「木登りデー」として設定する。木の上でご飯を食べてもいいし、昼寝をしても、本を読んでもいい。木に触れてその心地いい空間に包まれ、登っているときのドキドキ・ワクワク感を感じる。</p> <p><b>動物たちを救え！～アニマルクイズラリーで函館公園を堪能しよう～</b>            応募者：野村 宇見            実施希望公園：函館公園（北海道函館市）            概要：明治時代、日本で初めて市民参加により造られた函館公園をまるごと使って楽しむ、アニマルクイズラリー大会を、ストーリー仕立てで楽しむプラン。公園の環境を生かして、動物への理解や愛護の心を育み、そして楽しい時間を子どもたちに提供する。</p> <p><b>狼煙<small>のろし</small>でつなぐ瀬戸内海</b>            応募者：NPO 法人グリーンラインを愛する会 丸山 孝志            実施希望公園：広島県立後山公園及び瀬戸内海各所の公園（広島県福山市）            概要：瀬戸内海の各所にある眺望スポットの公園に狼煙台を作り、「広島県立後山公園」と四国の各所の公園を狼煙でつなぐ。瀬戸内海と言う内海（うちうみ）の特性を活かし、都市と都市、地域の市民と市民の交流を図る。</p> <p><b>夜の公園も楽しもう！インドネシアの伝統芸能ジャワ影絵芝居と夜市</b>            応募者：坂内 まゆ子            実施希望公園：信夫山公園（福島県福島市）            概要：インドネシアの伝統的な影絵人形劇であるワヤン・クリをみんなで囲み、駄菓子の代わりに、いくつかの地元の飲食店に参加してもらいます。夜の公園で子供も大人も一緒に輪になって楽しみ、同じ場所で、同じものを見て一緒に感動する。</p>



## スラックライン初級体験教室

実施日 2017/8/26から現在

150日間

団体名 NPO法人仙台スラックライン

主 催 NPO法人仙台スラックライン

開催場所 国営みちのく杜の湖畔公園 ( 宮城県川崎町 )

参加人数 7,500 人

スタッフ数 50 人



スラックライン体験教室1



スラックライン体験教室2



スラックラインロングセッション

### ◆実施概要

年間を通して毎週末晴れの日、国営みちのく杜の湖畔公園内でスラックライン初級体験教室を開催しています。雪が積もっても元気に行っています。

スラックラインとは、ベルト状のラインを綱渡りのように歩くスポーツで、幼児～ご年配の方まで年齢問わずどなたでも体幹・バランス・集中力が鍛えられるため、皆さん一緒になって楽しみながら参加されています。

スラックラインの普及・啓発活動と、地域の皆様に適度な運動を始めるきっかけをつくり、スポーツを楽しむ文化が地域に根付く取り組みを行っていて、年間のべ2,500名の参加者を目標としています。

また、皆さんが頑張った成果を披露する「スラックラインロングセッション（記録会）」を年1回開催しています。

対象年齢：制限なし（幼児～年配の方まで）

内容：公園にスラックラインを10本程度設置し、参加者に楽しめるよう乗り方を指導

開催日時：通年 毎週土日 晴れの日 10時から15時頃まで

開催場所：国営みちのく杜の湖畔公園南地区「湖畔のひろば」（宮城県川崎町）

スラックラインの種類：・初心者用2インチ／10m～15mを6本程度（初心者用にガイドを設置）

・経験者用1インチ／30m～80mを4本程度

参加費：一日200円／人 予約不要、出入り自由、何回でもOK（年間のべ2,500名程度）

指導員：4名程度（NPO法人仙台スラックライン）

受付：スラックラインの注意事項の同意と、新型コロナウイルス感染予防のため消毒及び検温の上、問診票を記入

安全対策：スポーツ保険加入

記録会：【スラックラインロングセッション（記録会）】を11月上旬に開催 ※2020年は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止

## ◆アピールポイント・参加動機等

近年運動不足が懸念される中、どのようにしたら皆さんが公園に来てスポーツを楽しんでいただけるかを考えました。

みちのく公園管理センターのご協力のもと、皆さんに緑豊かな国営公園で、のびのび楽しみながら気軽に参加してもらえるよう、敷居の低いスラックライン初級体験教室を開催しました。初めての方のため手持ちのガイドを設置し、スラックラインに乗れるよう参加者一人一人に丁寧に指導しているため、ご家族皆さんで何度もご参加いただくようになりました。

一般的なスラックラインはトランポリンのように飛んだり跳ねたりする＜バウンス系＞ですが、当団体は綱渡りのように長距離を歩く＜ロング系＞のため、安全が確保しやすく、幼児（2歳児）からご参加いただいています。今年は「新型コロナウイルス感染症の影響で運動不足だから、スラックラインしにこの公園に来た」という方もいらっしゃいました。

今まで頑張ってきたことで、学校の授業やイベント等に参加を依頼されるようになりました。メンバーの子ども達がイベントでデモンストレーションを行ったり、指導を行ったりと、当団体の活動の場が広がっています。また、全国規模の大会への指導も行っており、2019年のスラックライン大会のロング部門で、当団体のメンバーが優勝と準優勝しました。

また、公園活動の新たな挑戦として、福祉関係者にご協力いただきながら、障がいをもった方と一般の方が一緒になってスラックラインを楽しむ「綱りんびっく」の開催を考えています。

これからも、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、公園でスラックライン活動を長期的に行って、多くの方にスポーツを楽しむ文化が根付き、「スラックラインで地域興し」など地域の活性化につなげられる取り組みを実現させたいです。